南魚沼市　市制施行20周年記念展

南魚沼の家系図

現　代
戦後から現在まで

近　代
明治から第二次
世界大戦の終結まで

近　世
江戸時代
徳川家による政治

中　世
平安時代の終わりから
戦国時代
武士の時代

古　代
奈良・平安時代
天皇、貴族を中心
とした時代

古墳時代
豪族の墓である
古墳が造られた時代

南 魚 沼 市
2005(平成17)年 塩沢町が編入合併
南魚沼市
2004(平成16)年 六日町と大和町が合併し南魚沼市が誕生
塩沢町 1956(昭和31)
六日町 1956(昭和31)
大和町 1962(昭和37)
大和村 1956(昭和31)
石打村 1906(明治39)
塩沢町 1906(明治39)
中之島村 1901(明治34)
上田村 1906(明治39)
六日町 1906(明治39)
五十沢村 1907(明治34)
城内村 1907(明治34)
大巻村 1907(明治34)
殿神村
大崎村
東村
1889～1906(明治22～33)
江戸期～1889(明治22)
江戸時代　1807(文化4)
六日町組『風俗書上帳』で見られる村
江戸時代　1644～1647
『正保国絵図』に見られる村
南魚沼市内の山城
市内の中世の古文書に記載のある村
『雲洞庵文書』に見られる郷
荘　園
上田荘
浦佐保(ほ)
魚沼郡
質祢(かね)郷…塩沢～六日町地域
千屋(ちや)郷…小千谷周辺　那珂(なか)郷…十日町周辺　苅上(やぶかみ)郷…大和町～小出～堀之内周辺『倭名類聚抄』(10世紀ころ)
古代越後国の郡(『延喜式』927年)
魚沼郡　頸城郡　古志郡　三嶋郡　蒲原郡　沼垂郡　石船郡
南魚沼市の古墳
・『塩沢町史』・『六日町史』・『大和町の近・現代』等を参考に作成
・村の成り立ちには諸説あります
・中世以前は古文書がかないため、表にない村も記録が残っていないだけで、必ずしも村がなかったわけではありません